

神戸市人と猫との共生推進協議会 第3回定例会議録

1. 日 時

平成29年12月26日（火）14:00～15:30

2. 場 所

神戸市役所4号館（危機管理センター）1階北側会議室

3. 出席者

(1) 構成団体11団体の内8団体出席（規約第6条第2項の規定により会議成立）

(2) 出席者氏名 別紙出席者名簿のとおり（一般傍聴者0）

4. 議 事

【報告事項】（事務局より報告）

(1) 事業報告について

① 事業部会開催状況

前回の報告以降第10回から13回まで4回開催されたことを報告。

② 野良猫の繁殖制限事業の実施状況

- ・12月18日現在、支援申込件数230件、情報提供件数145件（28件支援申込と重複）
- ・対策区域の選定件数は、支援申込170件、情報提供34件（23件は支援申込と重複）
- ・11月末現在不妊去勢手術数は1,396匹
- ・対策区域の選定方法について、事業部会で策定した選定マニュアルのフロー図に基づき説明。また、支援決定をした事例について、支援申込書、地区別計画書、TNR実施のお知らせ（周辺住民への配布チラシ）、対策区域の地図等を例示して説明。

③ 猫の譲渡の推進事業の実施状況

- ・HPでの譲渡会情報提供について説明。現在10団体掲載

④ ネコ市ネコ座神戸

- ・12月16日（土）、17日（日）に神戸KIITOで開催された。フェリシモ猫部が主催者、ネスレピュリナが共催者、協議会がブースに出展。
- ・協議会は、繁殖制限事業、ふるさと納税の説明展示、にゃかペラ KOBE の放映、ア

ンケート調査（592 枚回収）などを行った。会場の写真撮影したものをプロジェクターを用いて説明。

(2) 事業予算について

- ・野良猫の繁殖制限事業において、9 月末に当初計画の手術数の目標である 1,000 匹を超える結果となったが、年度内に繁殖制限が必要な区域が残っているため、神戸市から 600 万円が補助されることとなった（事業予算として当初予算の 1,100 万円とあわせ計 1,700 万円）。今後、繁殖制限事業選定マニュアルに基づき計画的に事業を進めていく旨報告。

(3) 寄付金

- ・現在、総額 2,047,132 円で、内訳は、(株)フェリシモ 200 万円、ネコ市ネコ座募金 37,132 円、一般 10,000 円。
- ・今後は、協議会としても関係団体に働きかけ積極的に寄付、募金を集めていくこととする。

【協議事項】

(1) 人と猫との共生に関するガイドラインの骨子案について

- ・ガイドラインの目的として、猫を適正に管理するために、各主体がすべきことを具体的にわかりやすく整理することとした。
- ・ガイドラインの骨子では、主体を、条例で規定されている市民、獣医師会、共生推進活動団体、動物取扱業者、協議会とし、市民については、飼い主、野良猫への給餌者、野良猫に関っていない人、野良猫で迷惑している人に分けることを提案した。
- ・それぞれの主体について、ガイドラインに掲載する事項を提案した。
- ・①猫は本来愛護動物であり、飼い主を見つけて室内で飼うべきであること、②地域猫は最終目的でなく、過渡的な対策であり、できるだけ譲渡につながる対策をとること、③高齢者がペットを飼うことで健康維持につながること、④未来を見据えた子供の教育へのかかわりに関すること、⑤企業としてどのような形の支援ができるか検討していることなどの意見があった。
- ・これらの意見も踏まえ、事務局で具体的な内容について取りまとめ、次回の定例会議に提案することとした。

【連絡事項】

(1) 神戸市より（条例の取組み状況、市営住宅におけるペット飼育の適正化）

- ・地域猫活動団体の登録状況（11 月末 85 団体）、ふるさと納税の状況（昨年度を上回っている）、猫の殺処分率（昨年度の同時期より減少）について報告。

- ・市営住宅の多頭飼育崩壊事案を受けて市営住宅条例にペット飼育禁止の規定を盛り込む方針が明らかになっていることから、住宅管理部局に今後の方針等を聞く場を用意するので、協議会として出席し、どのような協力ができるか検討してほしいとの要請があった。

(2) 出席者より

- ・フェリシモ猫部を介して、コードフォーキャットという団体から、猫に関するあらゆる質問疑問に答える、自動応答サービス「CatBot」への協力依頼があった。